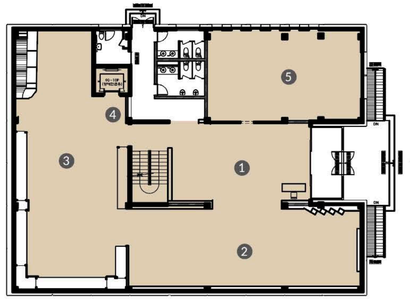
フロア別案内

✳ 1階

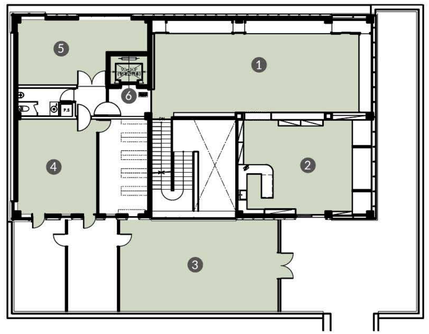
ロビー、第1展示室、第2展示室、企画展示室



❶ ロビー
❷ 第1展示室
❸ 第2展示室
❹ エレベーター
❺ 企画展示室

✳ 2階

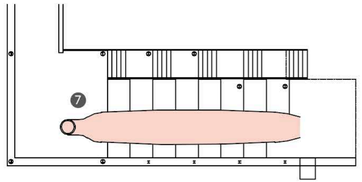
第3展示室、#CERA、収蔵庫、陶磁体験館、事務室



❶ 第3展示室
❷ #CERA
❸ エレベーター
❹ 収蔵庫
❺ 陶磁体験館
❻ 事務室

✳ 別館

伝統窯



❼ 伝統窯

Gimhae Buncheong
Ceramics Museum

交通アクセス

Gimhae Buncheong
Ceramics Museum

乗用車

南海高速道路 → ジンレIC → ジンレ面方向(左折)

公共交通機関

市内バス : 金海旅客ターミナル → ジンレ農協(44番、30~40分おき)
市外バス : 釜山西部市外バスターミナル(ササン)→ジンレ農協

軽電鉄

ポンファン駅下車(市内バス44番、ジンレ農協下車)

KTX

ジニョン駅 → ジンレ農協
(バス : 13番、15番 所要時間30分/タクシー : 所要時間10分)

金海粉青陶磁博物館

金海市ジンレ面ジンレ路275-35
055)345.6036~7
http://doja.gimhae.go.kr
buncheong_museum

金海粉青
陶磁博物館

김해분청도자박물관
GIMHAE BUNCHEONG CERAMICS MUSEUM

ヒストリー

- 2009. 05 金海粉青陶磁博物館 開館
- 2018. 08 第2種博物館(展示館) 登録
- 2019. 01 金海粉青陶磁博物館の 名称変更
- 2019. 04 強小型潜在観光地 発掘育成公募事業(慶尚南道) 選定
- 2019. 05 陶磁体験館増築
- 2020. 07 韓国観光公社 「アンタクト観光地100選」 選定
- 2022. 05 博物館再開館
- 2021. 12 博物館施設改善 工事着手

観覧案内

✳ 観覧時間

09:00~18:00 (観覧終了30分前まで入場可能)

✳ 休館日

毎週月曜日、1月1日、旧正月および秋夕当日
(ただし、月曜日が休日の場合、その次の最初の平日)

✳ 観覧料

無料

✳ 観覧注意事項

- 飲食物の持ち込みや盲導犬以外のペットの入館は禁止しております。
- 展示室に入場する前に、携帯電話は電源を切るか、マナーモードに設定してください。
- 展示館ではお静かにご観覧ください。走り回るなどの行為はご遠慮下さい。
- 展示物に触れたり、損傷する可能性のある行為はご遠慮下さい。
- フラッシュ・三脚などを利用した撮影や営利目的での撮影は禁止しております。

* 表紙の写真 : 金海上東粉青沙器窯跡出土「金海」と刻まれた粉青沙器の欠片

粉青沙器とは？

粉青沙器は灰色または灰黒色の土の上に白土を付け、さらに釉薬を塗って焼いた磁器である。
日本による植民地時代の美術史学者高裕燮(コ·ユソプ、1905~1944)が青磁または白磁と形、装飾、釉薬の色が似ているが、異なる特徴を持つ磁器を「粉粧灰青沙器」と命名したことに由来する。その後、多くの学者によって継承され、略して「粉青沙器」と呼ぶようになった。
粉青沙器は、青磁の後を継いで14世紀後半から16世紀初めまでの約150年間製作され、韓国の陶磁器の中で最も純朴な民芸陶器として知られている。

金海陶磁文化

金海の陶磁文化は新石器時代の土器をはじめ、伽耶土器→高麗青磁→朝鮮粉青沙器・白磁に至るまで一万年にわたって多様な陶磁器を生産し使用した。
以後、朝鮮時代に至って全国的に粉青沙器と白磁を焼く窯が盛んになるが、金海でも多数の窯跡が存在したことが確認された。
特に、15世紀後半に京畿道広州に官窯が設置されるまで中央官庁に貢調するための陶磁器生産を担当していた窯跡の遺跡も存在したが、その代表的な遺跡が「金海上東粉青沙器窯跡」である。

✳金海上東粉青沙器窯跡-慶尚南道記念物第288号

- **位置：**金海市上東面大甘里503番地
- **確認した遺構：**窯跡1基、廃棄場3箇所
- **営業時期：**1390~1470年代
- **特徴：**「金海」、「長興庫」などの地域および官庁名が確認される遺物が大量出土/文献記録と符合し、朝鮮時代の貢調用粉青沙器の生産地であることが確認される。

「金海」と刻まれた粉青沙器の欠片

常設展示室

✳第1展示室：陶磁文化室

- **陶磁器**
  陶磁器の定義および種類
  金海陶磁器変遷史
- **粉青沙器**
  粉青沙器の定義および変遷、製作技法
  韓国の粉青沙器窯跡を紹介

✳第2展示室：粉青沙器室

「金海」・「長興」・「司膳」など多様な文字が刻まれた遺物展示

✳慶尚道の粉青沙器窯跡

陜川将台理、昌原熊川、尚州上板里・于下里、機張上長安・下長安遺跡など
慶尚道の代表粉青沙器窯跡の紹介および遺物展示

✳第3展示室：金海陶磁室

- **金海陶磁文化**
  金海陶磁文化紹介および金海の窯跡現況展示
- **金海陶磁器**
  青磁→粉青沙器→白磁につながる金海の代表的な窯跡遺跡を紹介
- **金海陶磁の現在と未来**
  現代金海陶磁文化の発展史と今後金海陶磁が進むべき方向を提示

企画展示室

✳毎年3~4回の企画展示開催
遺物展示だけでなく、金海で活動している芸術家のための展示開催

#CERA

✳金海で生産されたティーカップ、マグカップ、コーヒーカップ、茶器を展示する空間
陶磁器を購入された方に限り、コーヒーやお茶などを提供盒
年6~8回、小規模クラス(茶道・コーヒー)講座を実施

別館

✳伝統窯

主な収蔵品

粉青沙器印花文鉢

粉青沙器剥地牡丹唐草文壷

「官」が刻まれている粉青沙器鉢

粉青沙器皿類

セラミックススタジオ

様々な陶芸体験を楽しめる空間。皆様に楽しい時間をお届けします。

✳陶芸体験

- **マーブリング皿作り** 体験料金：1万5000ウォン
- **マイ陶器作り** 体験料金：1万ウォン
- **マイマグカップの絵付け体験** 体験料金：6000ウォン
- **陶器人形の絵付け体験** 体験料金：6000ウォン
- **陶器タイルフレーム絵付け体験** 体験料金：5000ウォン

マーブリング皿

✳プレミアムクラス

陶磁器セットを先生と共にアイデアスケッチから完成まで作るプレミアム体験
体験料金：3万ウォン-1週間前に事前予約、平日の夕方可能
*お勤め帰りの方にもご利用いただけるよう、平日夕方の予約も受け付けております。

✳体験予約

博物館のホームページにて予約

教育プログラム

✳金海市民陶芸大学

募集：年1期(15週課程) **対象：**成人(18歳以上)
内容：基礎陶芸講座および学術特講実施、
他の地域の陶磁関連の博物館および優秀陶芸村探訪

✳「陶・時・楽：陶磁器を楽しむ時間」

期間：年6~8回 **対象：**約7人
内容：小規模で行われる1Dayクラス(3時間)、
茶道専門家を招いて茶道教育や製茶体験などを実施

文化行事

✳伝統窯の火起こし

期間：年1回 **対象：**全ての市民の皆様(事前予約制)
内容：博物館の伝統窯を利用した火起こしイベント、
窯に使用された炭を使ったバーベキューパーティーなど実施